

# 消防設備士講習受講申請書

令和6年度

『書面申請用』 ◆ 太枠内すべて記入してください。

埼玉県知事殿

消防法第17条の10の規定により、次のとおり講習を受講したいので申請します。

記入日

＜＜協会使用欄＞＞

\*ここには何も記入しないでください。

受講日

受講番号

その他

受講区分

受講希望日

第一希望

第二希望

第三希望

※受講する区分と開催日を必ず確認してから記入してください。

※希望する第一希望の講習日が定員に達していた場合は第二、第三希望に振り替えます（消火設備は第二希望まで）。  
※希望する講習日に受講できない場合もあります。

申請者氏名	姓		名		生年月日 ※和暦	※昭和=S、平成=Hと省略可 例) 昭和60年1月5日=S60.01.05
氏名カナ	セイ		メイ		本籍地	コード
申請者住所	〒				電話	
					携帯電話	
勤務先					電話	
					携帯電話	

※日中連絡が取れる電話番号を記入してください。

取得している免状について記入してください。

免状種類	交付年月日 ※和暦(元号)で記入する。	交付番号 ※5桁の番号	交付知事	コード
消火設備	甲種 1類			
	甲種 2類			
	甲種 3類			
	乙種 1類			
	乙種 2類			
	乙種 3類			
警報設備	甲種 4類			
	乙種 4類			
	乙種 7類			
避難火器	甲種 5類			
	乙種 5類			
	乙種 6類			

※申請する区分の所有している免状を記入する。  
例) 警報設備の受講申請は甲種第4類(甲4)、乙種第4類(乙4)、乙種7類(乙7)の中で取得しているものを記入すればよい(消火設備、避難設備・消火器も同様)。

※交付年月日は免状のとおり和暦から記入し、数字は必ず2桁で記入する。  
例) R04.05.01、H01.10.05  
(「元年」は使用しない。)

※交付番号は5桁の番号を記入する。  
例) 00018

※交付知事は都道府県名までよい  
例) 「埼玉」

今回埼玉県で申請している他の区分があれば○で囲んでください(申請時には科目免除手続きはできません。)

消火設備	警報設備	避難設備・消火器
------	------	----------

埼玉県以外で6か月以内に受講を修了している区分について記入してください。

講習区分	受講年月日	受講地

※講習科目の一部免除を申請する方は、消防設備士免状の表と裏のコピーを同封してください。

「納付書兼領収書」を申請書の裏面下方に貼付してください。  
金融機関の収納印が押していることを確認してください。

\*この用紙は日本産業規格A4です。印刷する場合はA4のコピー用紙を使用してください。

\*受講申請者は太枠内すべて記入してください。

\*記入された情報は消防設備士講習における名簿及び講習履歴等データベースの作成、本講習に係るサービス等に使用します。